

私が見た日本

著者: **Aleksandra Alicja SOLARZ**

〈名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 Ω 研
〒464-8602 名古屋市千種区不老町〉
e-mail: solarz.aleksandra.alicja@c.mbox.nagoya-u.ac.jp



和訳: 鈴木 建

〈天文月報編集委員会〉

私は昨年 10 月にポーランドから日本にやってきました。名古屋大学 GCOE プログラムの博士課程大学院生として Ω 研究室（竹内 努准教授）に在籍し、銀河進化について研究しています。本稿では、私の故郷ポーランドのクラクフのことや、日本に滞在して感じた日本とポーランドの違いについて書きます。

私の故郷クラクフはポーランドの文化、芸術の都です。しかし文化都市としてのクラクフの歴史はそれほど古くはありません。中世にはヴェイト・ストフォシュ (Wit Stwosz) という有名な芸術家が居を構えたこともあります。クラクフが文化、芸術の都として花開くのは 100 年程度前のことです。19 世紀末から 20 世紀初頭にクラクフに移り住んだ芸術家たちが持ち込んだ独特の空気が、現在の文化薫る街の礎となりました。

そのような芸術家の一人にジョゼフ・メホファー (Jozéf Mehoffer) がいます。クラクフ旧市街の中心には、フラリと散歩に出掛けたメホファー夫妻の帰りを待つかのように、1 世紀前と変わらない姿のメホファー家の邸宅が建っています。窓にはトンボやハチの飛び交うレースのカーテンが取り付けられ、色鮮やかなクロスや絵画が壁を飾っています。

そんな絵の 1 枚に「暖炉の上の小物」があります (図 1)。その絵のすぐ横には、メホファーが 100 年前に描いたときそのままに、絵の中と全く同じ静物たちが暖炉の上に置かれています。絵の中には、一非日常な雰囲気醸し出すために、裕



図 1 メホファーの「暖炉の上の小物」。¹⁾

福な家庭にしばしば飾られるよく見かける東洋のインテリアのように一扇子、コウノトリの形をしたキャンドルや封蝋の小箱などが置かれています。メホファーは日本に行ったことはありませんでしたが、東洋の芸術に関心があり、家は東洋からの素晴らしいコレクションであふれていました。

私が名古屋にくる前には、日本のことをあまり一おそらくメホファーと同じ程度しか知りませんでした。そしてこれまた彼と同じく、日本に来るとは夢にも想っていませんでした。クロサワ映画に影響された多くのヨーロッパの人々と同じく、サムライの国のイメージを日本に抱いていました。街には着物を着た人々が行き交い、よく整備された庭に囲まれた掃除の行き届いた小さな家々が建ち並んでいるのだと、何となく想っていました。しかし、成田空港に降り立った瞬間、サムライの時代はすでに終わり、もう後戻りすることはないことを知りました。その代わりに、摩天楼やよく整備された公共交通網、そして広い道が現代の日本の姿であることを知りました。

しかし、名古屋に住み始め街歩きをしてみると、街には古い映画で見られるような歴史的なものをたくさん見つけることができることも知りました。例えば森の中に佇む古いお寺や、着物を着た子供たちをそこかしこで見かけることができます。毎日の私の通学路の横には、巨大な大仏様が名古屋の街を見下ろすように立っています。古きものが現代的な新しきものと混ざり合い、上手く調和しています。このような名古屋—もう第2の故郷になりましたが—の街は、故郷クラクフとよく似ています。

これまですでに日本に約半年住みました。徐々に日本を知るにつけ、ポーランドとは多くのことが違っていることを知りました。まず最初に驚いたのは、日本の冬は結構寒いにもかかわらずセントラルヒーティングが装備された建物がほとんどないことです！それはさておき、日本とポーランドの一番の違いは人々の態度や立ち振舞いだと思います。日本の人々はいつも笑顔をたたえつつ、自制心と高い規範意識を併せ持っています。そして現代的な感覚と同時に、伝統を重んじる心もっています。

3月に発生した巨大地震と大津波、そして福島原発の事故。このような大災害に立ち向かう日本

の人々を見て、困難に立ち向かう人間の姿勢は生まれ育った環境により大きく左右されるのだということを強く認識しました。日本列島は環太平洋造山帯の真上にあります。生と死が常に隣り合わせのなか、大げさに感情を表さず突然の死を受け入れる人々がいます。一方、ポーランドでは、ささいな出来事が大げさに伝わり、より大きな混乱をもたらすことが、残念ながらよくあります。

日本政府が計画停電を発表した後の、日本人の反応には驚きました。人々は暖房やテレビ、家電製品のスイッチを自主的に消し、節電のための協力を開始したのです。このようにシンプルですが、大災害に立ち向かうときに自分の利便性だけを優先させない行動には、日本人の強い責任感と共同体意識が現れています。

最後になりましたが、すべての点において違う文化の中での経験を積めることを、非常に幸運なことだと感じています。是非とも日本文化に溶け込み、適応していきたいと思います。

(訳者注. 英語原文からの直訳ではなく、意識されている部分があります。)

参考文献

- 1) 図1は以下より転載
Pawlinska, Aleksandra, 2006, "JOZÉF MEHOFFER [1869–1946]," "LUDZIE CZASY DZIELA" series, Edipresse Polska S.A., Warsaw, ISBN: 978-83-7477-207-5

Japan, I'm Experiencing

Aleksandra Alicja SOLARZ

Ω Lab., Department of Physics, Graduate School of Science, Nagoya University

Abstract: I came from Poland in October last year. Now I am studying evolution of galaxies in Ω laboratory (assoc. Prof. Tsutomu Takeuchi) as a doctor-course student of the GCOE program of Nagoya University. In this article, I introduce my home city, Kraków, and state differences between Poland and Japan after spending several months in Japan.